

病 院 長：笹壁 弘嗣  
 病 床 数：270【一般：178／療養：92】  
 医 師 数：14  
 診 療 科 目：内、神内、循、小、外、整、脳、泌、産婦、眼、  
 耳、リハ、歯口、放

●問い合わせ先

新庄徳洲会病院 総務課 山内  
 tel.0233-23-3434 fax.0233-23-3500  
 E-mail：kenshu@shin-toku.com

## ●病院の概要



## 1. 病院の概要

- 平成10年12月 オープン
  - 平成16年4月 臨床研修指定病院
- ベッド数270床。うち一般病床178床、療養病床92床。
- 診療科目**：内科、外科、循環器科、脳神経外科、整形外科、婦人科、泌尿器科、神経内科、皮膚科、耳鼻咽喉科、形成外科、歯科口腔外科、リハビリテーション科、人工透析、麻酔科、放射線科
- その他**：訪問看護、検診センター（人間ドック）
- 介護関係**：居宅支援事業所、通所リハビリテーション、療養型医療施設（ショートステイ含む）
- 医療設備**：MRI、ヘリカルCT、マンモグラフィ、パイプライン血管造影装置、高気圧酸素治療装置
- 関連施設**：介護老人保健施設舟形徳洲苑100床（一般：50床、痴呆専用50床）当院より車で15分  
 グループホーム・認知症対応型デイサービスセンターふきのとう

## ●募集について

## 臨床研修

- 平成22年度専門研修医募集定員：2名
  - 平成21年度研修受入数
    - ・1年次：0名
    - ・2年次：0名
- 補足）徳洲会グループ内の研修で、筑波大学、岡山大学、関西医科大学、愛媛大学、信州大学、北海道大学より受け入れている。
- 処 遇
    - ・給与：320,000円（初年度）、360,000円（2年次）
    - ・賞与、退職手当（3年以上勤務）、時間外手当、当直手当有
    - ・年間概算支給見込額：5,000,000円（初年度）
  - 研修医の募集及び採用の方法
    - ・募集方法：公募（随時募集）
    - ・選考方法：面接
    - ・応募必要書類：履歴書、成績証明書、卒業見込み証明書
    - ・マッチング利用の有無：有
  - 公舎・勤務環境
    - ・単身用10戸／世帯用5戸、病院負担有り。
    - 図書室、インターネット環境有り。

- 生活環境
 

周辺地域に宿泊・日帰り温泉施設多数。夏は周辺の登山、冬は近くにスキー場有り。
- 病院説明会や病院見学について
 

見学・実習は随時受け入れています。日時・滞在日数など可能な限り希望に合わせた形での受け入れを実施しています。宿泊・食事は病院で準備、交通費も実費支給いたします。

## 2. 病院の沿革・特徴

当院は近隣地域を含め人口約9万人の潜在的ニーズにマッチすべく、原点である24時間オープン救急体制を維持しながら、慢性疾患在宅医療・血液透析、介護保険事業にも重点をおいています。高齢化が進む農村部の長寿社会に向け、トータルな地域密着型の医療福祉及び介護に取り組んでいます。研修指定病院の中では比較的小規模の病院ですが、研修医1人当たりの症例数は大規模な研修指定病院と比較しても見劣りするものではありません。指導医及びスタッフの年齢も若く、コミュニケーションを図りやすい環境です。他にグループ全体で行われる研修医交流会、近隣のグループ病院で開催される研修医の集いなどを介した研修医同士のコミュニケーションの充実にも努めています。更に、医療講演会・教育機関での講習など地域への啓蒙活動も盛んに行っています。

## ●診療科ごとの入院患者・外来患者の数

診療科	年間入院患者実数	平均在院日数	年間新外来患者数	1日平均外来患者数	年間外来診療日数	常勤医師数	指導医数
内 科	974	34.3	556	81	270	6	1
外 科	304	32	157	13	270	1	1
脳神経外科	78	34.2	138	18	270	0	0
整形外科	151	30.6	149	18	270	0	0
泌尿器科	-	-	20	7	270	0	0
耳鼻咽喉科	-	-	29	7	270	0	0
歯科口腔外科	18	5.8	269	24	270	0	0
眼 科	-	-	8	2	270	0	0

## ●学会認定施設の状況

- ・日本外科学会外科専門医制度関連施設

## 後期研修

- 平成22年度専門研修医募集定員：2名
  - 平成21年度研修受入数
    - ・1年次：0名
    - ・2年次：0名
- 補足）徳洲会グループ内の研修で、筑波大学、岡山大学、関西医科大学、愛媛大学、信州大学、北海道大学より受け入れている。
- 処 遇
    - ・給与：（徳洲会グループ規程による）
    - ・賞与、退職手当（3年以上勤務）、時間外手当、当直手当有
    - ・年間概算支給見込額：5,000,000円（初年度）
  - 研修医の募集及び採用の方法
    - ・募集方法：公募（随時募集）
    - ・応募資格：初期臨床研修修了者、後期専門研修中断者・再研修希望者
    - ・選考方法：研修医長と面接・小論文
    - ・応募必要書類：成績証明書、卒業見込み証明書
    - ・マッチング利用の有無：有
  - 公舎・勤務環境
    - ・単身用10戸／世帯用5戸

- 生活環境
 

新庄市を含む周辺の市町村に温泉があり、また、市民スキー場もあります。
- 病院説明会や病院見学について
 

説明会は随時。病院見学は、連絡をいただければ、いつでもできます。

## ●プログラムについて

## 臨床研修

プログラム名 新庄徳洲会病院臨床研修病院群研修プログラム

- 【目的】救急医療とプライマリーケアをベースとし、総合的な臨床能力を有する医師養成を目的とした総合診療方式による2年間の初期研修プログラムです。具体的には、厚生労働省が目指す初期臨床研修達成を目的とします。
- 【特徴】山形県の北部に位置する最上地域の救命救急医療から療養病棟、訪問看護等の慢性期医療まで地域密着型病院を中心として形成された病院群の研修プログラムです。
  - ◎協力型臨床研修病院
    - 千葉西総合病院(小児科)
    - 日野病院(精神科)
    - 大和徳洲会病院（産婦人科）

## ●研修スケジュール(平成21年度)

1年次	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	内 科						外 科			救急・麻酔科		
	救急診療											
2年次	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	へき地・離島・地域		精神科		産婦人科		小児科		選択科			
	救急診療											

## ●研修内容

- ◎内科
  - 1年次研修は6カ月で内科全般に渡り研修する。入院では、常時10名～15名の患者を受け持ち、また、外来では、時間外及び救急患者を上級医及び指導医の指示のもと対応し、一般的な内科診療の基本を学び、症状に合わせた治療を学習する。心肺蘇生術や採血注射点滴ラインの確保等の技術を習得し、本院の特徴である救急やプライマリー・ケアに積極的に参加する。後期研修では、内科サブスペシャリティとして研修を行い、専門分野の検査治療に専念し、併せて1、2年次研修医の指導にも当たる。
- ◎外科
  - 1年次研修として3カ月間(基本研修科目)、2年次研修は選択科目として2カ月間研修する。将来“外科”の標榜を希望する医師のためには、3年次目以降も継続して外科後期研修を行うことにより、日本外科学会認定医制度の外科認定試験を受けることができる。本プログラムの特徴は、一般外科、救急、麻酔、プライマリー・ケアを基本にして癌末期患者の緩和ケア医療の基本も修得する点にある。
- ◎麻酔科
  - 1年次の救急・麻酔科研修での3カ月間と1年次の外科研修と並行して麻酔研修を行う。全身麻酔、脊椎麻酔、硬膜外麻酔の基礎的理論の理解と手技を学び、麻酔実技を通じて、気道確保、用手工呼吸、静脈路確保など基本的な救急処置の技術取得を目標とする。また、呼吸・循環モニターの理論の基本を理解すると共に、モニター機器の正しい使用法と異常値の解釈を学び、安全な患者管理の技術習得を目標とする。
- ◎産婦人科
  - 必修科目として2カ月に渡り産婦人科全般について研修する。産科では、正常分娩、産褥管理、分娩助産、会陰切開縫合等実習する。婦人科では、婦人科的診察法、術前術後管理、会陰裂傷縫合、腰椎、硬膜外麻酔等の手技を経験する。また、引き続き専門研修も継続できる。

## 後期研修

- 笹壁院長(外科指導医)が朝から晩まで、付きっきりで指導します。
- 3年目の目標：手術の基本手技の習得、4年目・5年目の目標：一般外科手術の執刀ができる。その他、外部への研修は随時可能。

## ●指導医・研修医からのメッセージ

## ◎病院長：笹壁弘嗣

当院は山形県の東北部に位置するケア・ミックス型病院で、人口約9万人の最上地区全域が医療圏です。透析医療の中核病院として地域に貢献する他、一般病棟と療養病棟に加え、障害者病棟も備え、慢性期医療の大部分と急性期医療の一部を担っています。老健施設やグループホームも隣接し、在宅医療も含めた介護のネットワーク作りにも力を注いでいます。新庄は、日本でも有数の豪雪地帯で、冬は雪に閉ざされるといった表現がぴったりの地域です。このような地理的環境に加え、過疎と高齢化という地方共通の問題を抱え、どのようにして地域医療に取り組んでいくかが私たちの課題であり、使命と考えています。現在は、都市部の研修病院の2年次における僻地離島研修として、2ヶ月交替で医師を受け入れています。研修医からは、当地で貴重な経験ができたと評価されています。管理型の研修病院としての実績はありませんが、一人あたりの症例数は他の病院と同等で得られます。また、救急医療など当院で完結できない部分は、他の病院での研修で補っています。職員全体が非常に協力的である仕事しやすい環境です。一緒にがんばっていきましょう。

## ◎研修医：諏訪秀明

新庄徳洲会病院では初期研修医2年次に地域医療研修として初めて働かせて頂きましたが、土地柄、人柄も良く、非常に仕事しやすい環境でした。また、想像していたよりは、生活にも困らない田舎町というのが新庄に対する印象です。医療は地域医療中心で高齢者が多く、common diseaseを中心に幅広い疾患を診なくてはならず大変勉強になりました。また、訪問診療も魅力的です。雪の中遠い山奥へ診療に行ったりと、良い経験をさせて頂きました。患者様を通して医学を学び、日々の診療において困ったときには院長をはじめ周囲の方々に助けて頂きながら、地域医療に少しでも貢献できたことは非常に良かったです。ここで経験し、悩み、学ぶことは、自分自身の研修としてかけがえのない良い研修となると思います。

## ◎研修医：碓井文隆

2年生の冬という、宇治徳洲会病院(京都府)での研修の集大成的な時期に僻地研修としてここ、新庄に参りました。病棟、外来、救急、当直、訪問と慌しくこなしながらも、最上の人情味溢れるスタッフや患者さんに助けられながら、日々勉強出来る環境です。急性期は勿論のこと、療養型病棟も備えているため、急性期から慢性期まで全ての流れを追って学べます。病棟や外来でも自分が主体になって進んでいくことで、医療を行うことの楽しさと難しさを肌をもって体験できます。宇治では、上級医と一緒にしていた部分の多くを自分がメインで動かなければならぬ、そんなちょっと背伸びさせられる僻地の環境が、必ず自分を成長させてくれます。良くなって退院する患者さんやご家族さんの笑顔は人生の最高の糧となります。勿論、困った時に一人で悩んでもどうしようもない時は、いつでも笹壁院長先生が分野を問わずに助けて下さります。僕も何度もお世話になりました。休日は大好きなスキーで滑って跳んで、帰りは温泉、夕食に蕎麦と最高の贅沢ができました。